

市長の ふれあい訪問



「安行藤八獅子舞保存会」

江戸時代初期に、悪病退治を祈禱し獅子舞を舞ったのが始まりと言われている安行藤八の獅子舞。毎年6月下旬の日曜日に地区内を回り、古くから伝わる獅子舞を保存・伝承する保存会を岡村市長が訪問。由来などをお聞きしました。

市長 みなさんこんにちは。いよいよ6月に入りました。夏の暑さに備え、また、クーラーも控えめにしようということで、私もネクタイをはずしてクールビズにしました。

さて、今月の市長のふれあい訪問は、本市の無形民俗文化財に指定されている安行藤八獅子舞保存会のみなさんです。どうぞよろしくお願いたします。

はじめに高橋会長さんにお聞きしますが、この獅子舞は、いつから始まったのですか。

高橋 資料はほとんど残っていませんが、先輩方の言い伝えでは、江戸時代初期に流行病が発生し、悪病退治を祈禱することを目的に始まったと聞いています。

中山(正) 安行藤八の獅子舞は、夏祈禱と呼ばれ、夏の流行病予防のために舞ったと言われています。

市長 すると昔から、夏の季節に行われてきたのですか。

鈴木(和) 毎年6月25日に行われていたのですが、平日では人が集まらないということもあり、現在は、6月25日近くの日曜日に行っています。今年は、今月の22日に行います。

市長 獅子を舞いながら地域を練り歩くのですか。

小櫃 一軒一軒の家に上がり、祈禱獅子を舞います。それ以外の行事としては、地元神社の大祭、市が行うイベントへの参加や高齢者の福祉施設などを慰問し、獅子を舞っています。

市長 獅子舞もお神楽の一種だと思いますが、安行藤八の獅子舞には、どのような特徴

がありますか。

鈴木(雄) 1頭の獅子に2人が入る、2人立ち1頭舞い形式で獅子を舞います。

中山(康) それに太鼓や笛、鉦のお囃子も加わります。

市長 獅子頭には、何か特徴がありますか。

小櫃 耳がふつくらとして、ポリウムがあるのが特徴で、ほかの地域に伝わる獅子には見られないと思います。また、いかつい顔をしているのも特徴です。

市長 保存会は、いつ発足されたのですか。

高橋 保存会としての活動は、約20年前からです。それ以前は、囃子連中として代々続いてきました。

市長 練習は、いつ行っているのですか。

鈴木(昭) 子どもたちも参加して、毎月第2・第4金曜日の午後7時から練習をしています。

市長 伝統行事として続けてこられていますのが、父親や祖父がやっていたというかたも多いのではないですか。

中山(正) はい。私も祖父がやっていました



し、獅子を舞うことに魅力も感じ、現在まで続けています。

鈴木(徳) 私たちの世代で無くすわけにはいかなんどの思いで、がんばっています。

市長 そうやって代々引き継がれていくわけですね。

新しく転入されてきた方などと、獅子舞をとおしての交流はあるのですか。

高橋 町会主催の「お花見の会」などに参加し、地域の方ともふれあっています。

市長 江戸時代初期から続いてきた郷土芸能を伝承していくことには、大変大きな意味があると思います。

最後に、今後の抱負などをお聞かせください。

高橋 現在は、小・中・高校生も参加して活動を行っていますので、後継者育成も含め獅子舞の伝承、普及に努めていきたいと思っています。

市長 みなさん、これからもがんばってください。今日は、ありがとうございました。